

3. レタスの作型別収益性と価格反応について

1. 背景と特徴

- (1) レタスが畑作地帯における野菜作経営のなかで、基幹的地位をしめる理由は、おもに次のことがらによる。
 - ① 作型を組合せることにより、概ね100品種を10数回にわけてずらしながら作付けし、6月から10月上旬まで収穫期間が長い。
 - ② 収獲労働を均等に配分して作付面積を拡大できる。
 - ③ 100㎡当り所要労働時間が比較的少なく、収益性は果菜について高い。
- (2) 農家が栽培している作型別に生産費と収量および収益性の関係を把握した。
- (3) また、市場価格と時期別供給量の動き（価格反応）から、作型に対する本県農家の供給行動を明らかにした。

2. 技術内容

(1) 生産費からみた作型別収益性

- ① 生産費のうち購入支払費用は最低16千円、最高26千円、平均21千円である。
- ② 粗収入額は収量と時期別販売単価の変動により較差が大きく、最低48千円、最高288千円、平均126千円である。
- ③ 100㎡当り所得最高は多収種の育苗マルチ（126千円）である。6月上～下旬に出荷し、低温時期なので薬剤散布なしで栽培でき品質が良好で他県産地より市場価格が相対的に高い。
- ④ ついで高価安定価格となる7月中旬～8月上旬に出荷する露地栽培（125千円）。
- ⑤ 8月上旬以降出荷する露地と直播マルチは高温結敗による低収量と品質低下のため市場価格が安く、低い所得（54～27千円）となる。

(2) 価格反応からみた時期（作型）別市場供給量の動き

- ① 6月の供給量が価格に反応しつつ、年次でも増加している。価格（品質）競争の相対的地位と多収種による高収益性に支えられて供給が増加している。
- ② 7月は作柄が天候に支配される面が強く、価格への反応はみられない。価格に対応した弾力的な供給行動が、気象的条件によって抑制を受けている。
- ③ 8月は価格への反応はないが年次ではふえている。この時期は標高500m以上の地

帯では安定した生産で高収益が期待できるため、このような適地開発が年々すすめられたことを意味する

④ 9月の作柄は安定してくるため、前年までの価格を考慮した弾力的な供給が行なわれる。

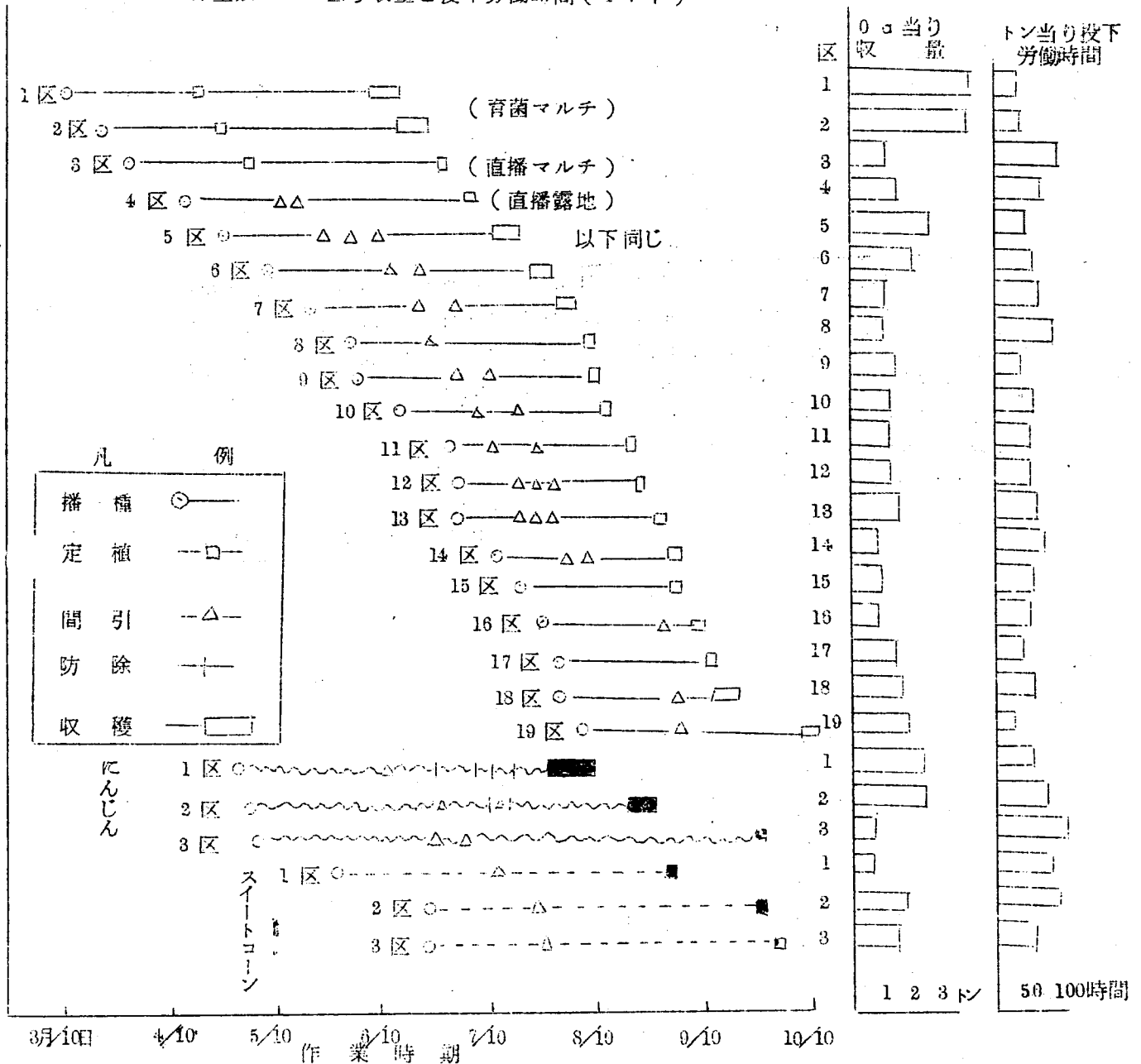
3. 普及上の留意点

生産費の適応地域 450m程度以下の地域とする。

4. 試験成績の概要

- 1) 試験課題名 主産地適品目の価格形成要因
- 2) 試験年次および場所 49~51年 長業試験場経営部
- 3) 試験方法 記帳および聞きとり調査、市場データの計量分析

図-1 作型別100㎡当り収量と投下労働時間(47年)



表一 作型別10a当り生産費と収益性(47年)

(単位 円 時間)

作型	レタス							平均
	育苗マルチ 1~2区	育苗マルチ 3区	直播マルチ 4区	直播露地 5~7区	直播露地 8~13区	直播露地 14~19区		
粗収量(箱)	618	190	248	323	240	220	286	
収単価(円)	387	229	280	624	493	333	442	
収入金額	238,392	43,510	68,040	201,552	118,320	73,260	126,412	
種子	800	800	800	800	800	800	800	
肥料	11,452	7,530	7,530	7,320	9,422	4,887	7,829	
農薬	540	0	0	413	2,818	41	1,065	
諸材料	5,420	3,740	3,740	0	0	997	990	
燃料	194	55	213	413	544	562	469	
償却費	2,489	996	1,961	7,028	7,609	5,875	6,259	
雇用労費	2,113	3,250	1,950	3,697	4,867	2,838	3,557	
労働費	17,631	11,538	12,354	11,083	7,361	6,903	9,425	
費計	40,639	27,909	28,558	31,304	33,421	22,906	30,385	
うち購入計	23,003	16,371	16,224	20,221	26,060	16,000	20,960	
流通費	88,981	23,543	31,721	56,609	37,976	30,235	43,358	
所得	126,403	3,596	20,095	124,722	54,224	27,025	62,094	
純収益	108,772	△ 7,942	△ 7,761	113,639	46,923	20,119	52,669	
1日当り純収益	8,050	△ 895	△ 818	13,330	8,237	3,787	7,265	
投下労働時間	121.1	91.0	87.9	91.0	75.3	60.5	79.9	
自家労働時間	108.1	71.0	75.9	68.2	45.6	42.5	58.0	
雇よう労働時間	13.0	20.0	12.0	22.8	30.0	18.0	21.9	
出荷期間	6/5~22	6/24~27	7/2~10	7/11~8/3	8/5~28	8/29~10/11	—	

注) 1箱重量レタス5kg

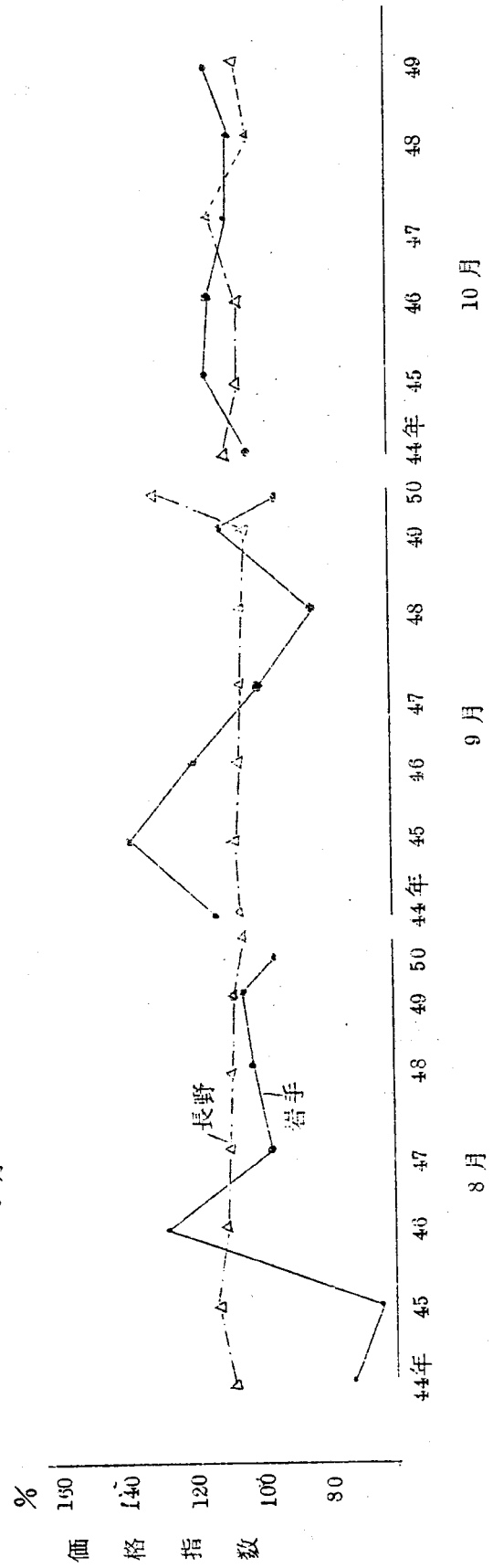
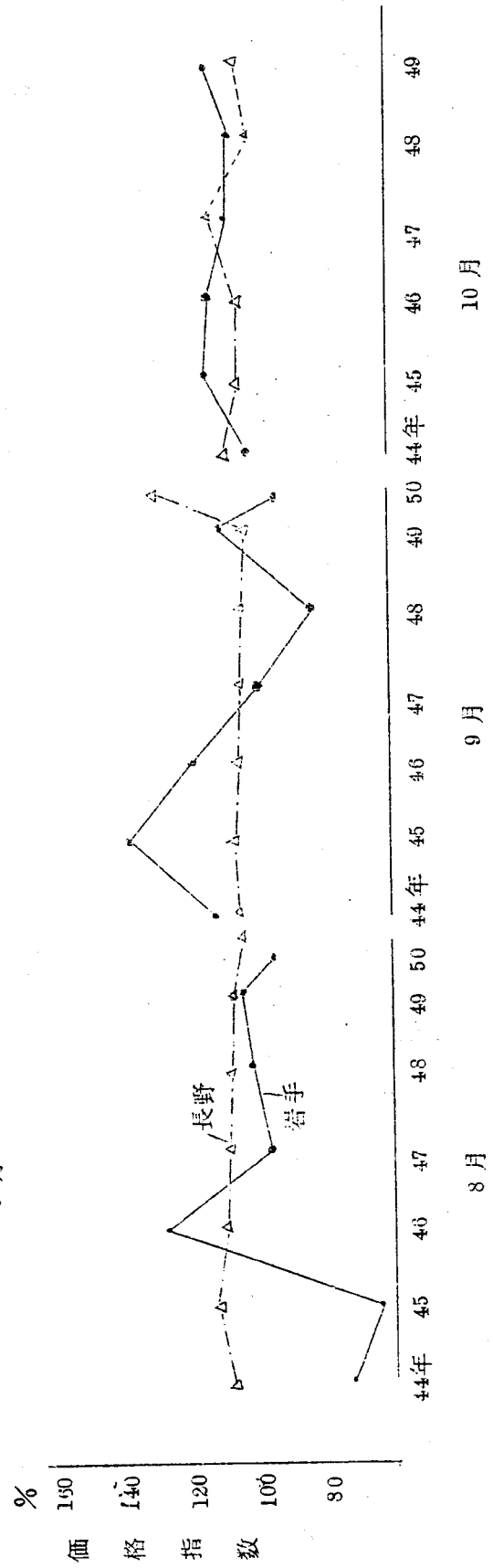
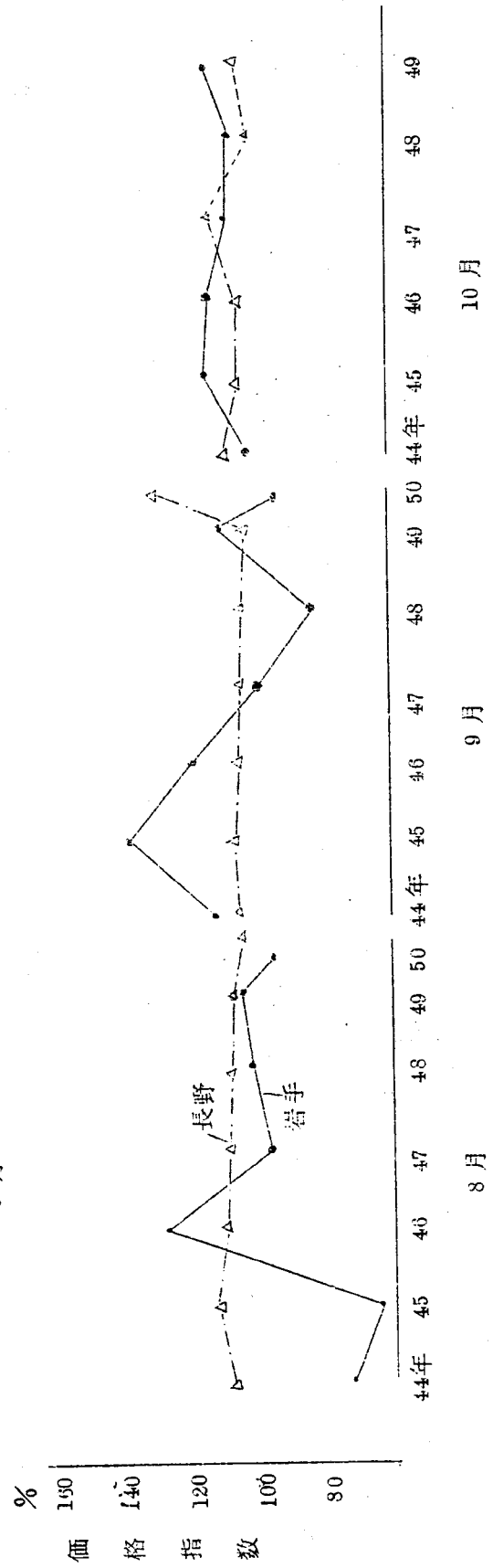
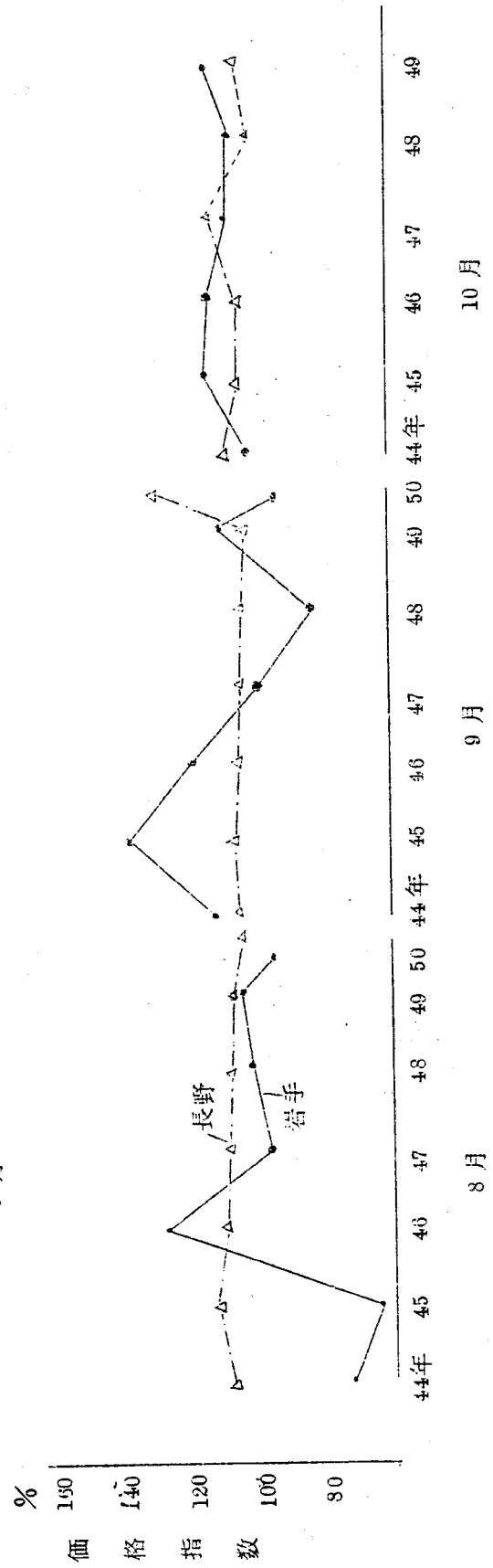
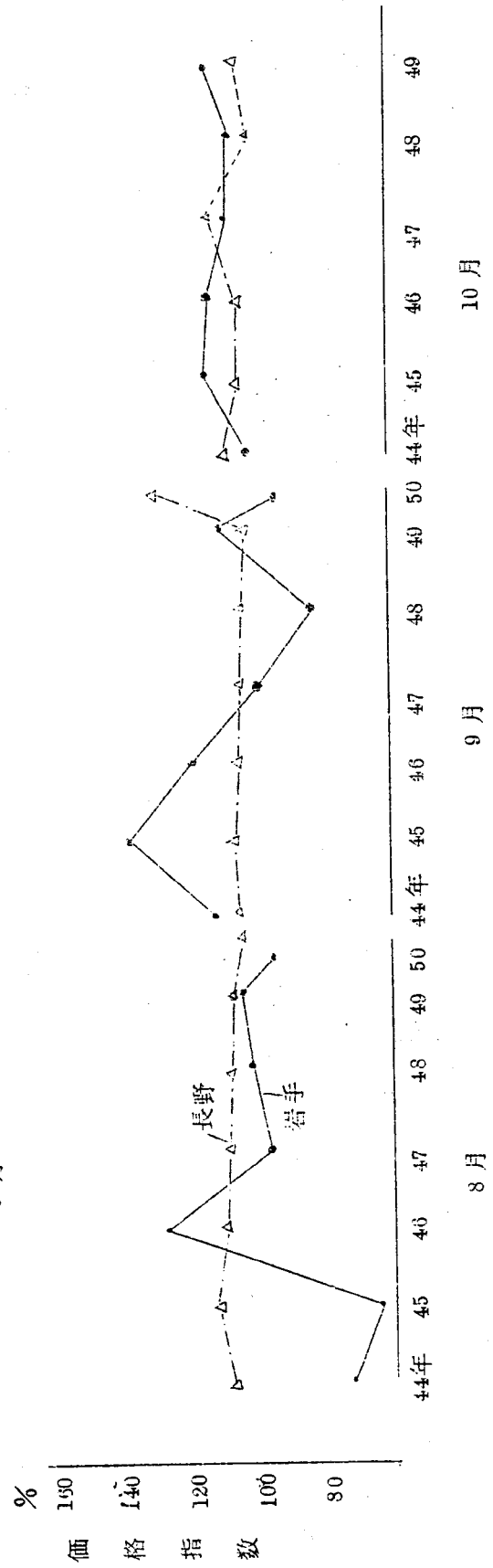
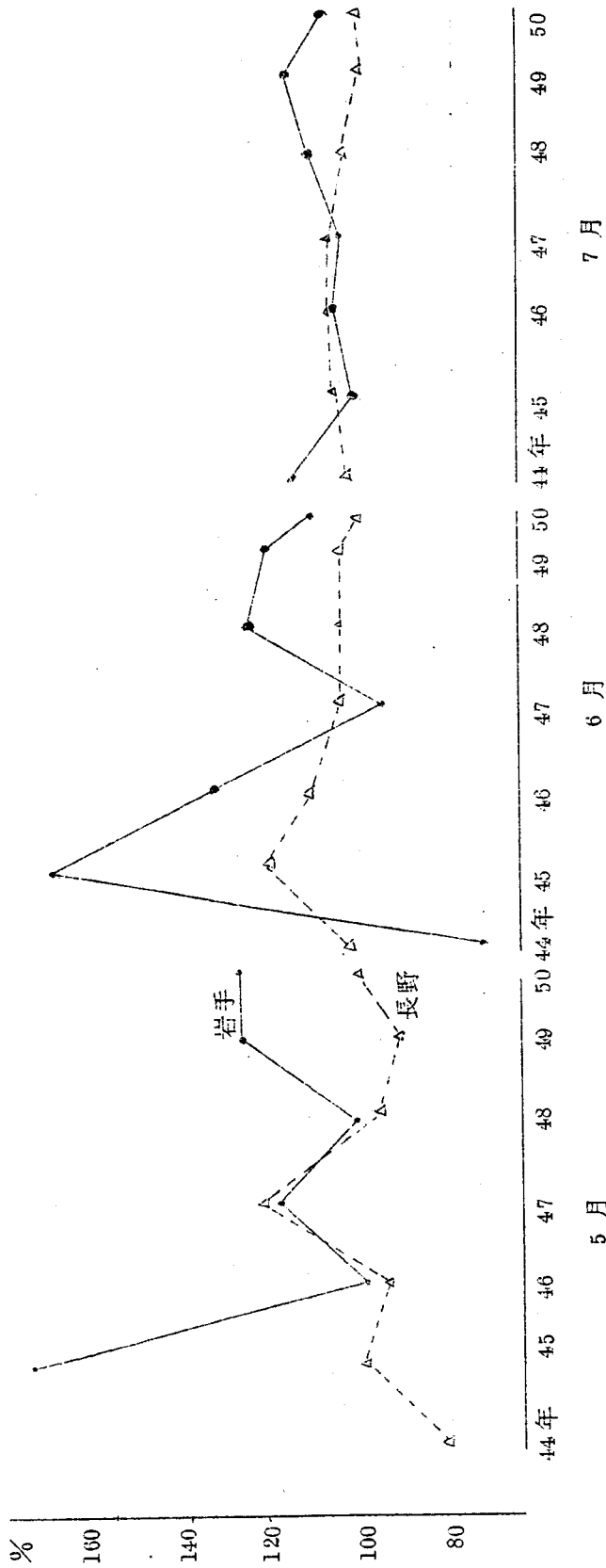
表二 収量の規格別割合と販売単価および販売金額(47年実績)

レタス

(奥中山農協の標準価格)

作型	区	10a当り収量(箱)			L比率 (%)	販売単価(円)			10a当り販売額(円)		
		L	M	計		L	M	L+M平均	L	M	計
育苗マルチ	1,2	407	M-206 S-3	616	66.1	395	M-273 S-316	387	160,702	77,965	238,667
"	3	310	0	310	97.2	236	219	229	71,204	1,968	73,172
直播マルチ	4	207	7	214	96.7	281	256	280	58,203	1,791	59,994
直播露地	5~7	230	81	311	74.6	604	486	624	135,730	30,727	225,507
"	8~13	245	27	272	90.1	501	420	493	122,445	11,550	134,095
"	14~19	141	45	186	75.8	353	273	333	40,622	12,463	62,085
平均	—	238	60	298	79.9	457	381	442	108,976	22,533	131,509

図一 2 東京中央卸売市場時期別価格指数 (市場平均 = 100)



参考付表

付表1 産地別夏秋レタス生産費および収益性(47年)

項目		産地	岩	手	長	野
		集計戸数 (戸)	5		10 円	
生産費	種	苗	604円		1,405	
	肥	料	11,313		10,336	
	農	薬	3,910		10,139	
	その他	物財	939		2,507	
	建物	土地改良	89		1,434	
	農具		7,455		14,053	
	労働		20,495		23,757	
費用	費用合計		44,205		63,731	
	うち 費入		14,753		26,792	
	自給償却		22,653		22,929	
			7,399		14,000	
生産数量 (Kg)			1,512		2,191	
第1次生産費 (100 Kg)			2,963		2,908	
収益	粗 収 益		86,515		57,029	
	100 Kg当り単価		5,721		2,603	
	所得		62,205		16,085	
	1日当り労働報酬		3,263		766	
100 ㍉当投下労力時間			144		102	
100 Kg当 //			9 8		4. 7	

農林省統計情報部「野菜生産費」47年産費、47年産から作成

付表2 東京都中央卸売市場の旬別価格と変動巾(40~48年)

単位: Kg当り円・%

月	旬	平均価格	標準偏差	変異係数
6月	上	67.4 円	35.2	52.1%
	中	64.7	22.7	35.0
	下	69.3	26.5	38.3
7月	上	59.6	25.1	42.1
	中	75.7	48.5	64.1
	下	78.0	42.0	53.8
8月	上	99.4	33.7	33.9
	中	103.3	42.0	38.8
	下	83.9	23.2	27.7
9月	上	93.7	39.6	41.0
	中	108.4	36.2	30.6
	下	86.4	35.7	41.3
10月	上	102.2	51.7	50.6
	中	79.9	30.2	37.8
	下	75.6	31.5	41.7

農林省統計調査部「青果物流通実報」より作成